

## アンケート結果を受けて改善したいところ 【自然科学系】

話し方は難しいが、もっと分かりやすい説明を心掛けたい。

2年生の化学実験では対応済みであるが、レポートに記載が必要なポイント(配付プリントには分散して記載あり)をリストにして公表する。

この授業は本来、化学分野の学生が履修すべき授業であるが、非常勤の先生にお願いしている「機器分析」の授業の受講を途中から放棄する者、実験だけ受講してレポートを提出する意志のない者は受講しないように案内したところ、さらに生協の教採ゼミ受講の理由で、約半数の学生が実験を受講しなかった。分野の教務からの指導が必要であろう。

設問の15で1時間未満が半数以上いたので、宿題の量が少なすぎたと反省している。次回はやや多めに出そうと考える。

アンケートの結果自体は思っていたよりも悪くなかったが、最後の方の授業は時間に追われての講義を進めていたように思う。ノートを整理し、細かい説明までゆっくりとできるような講義を展開したいと考えている。

時間的な制約のため紙面を用いた相互評価しか実施できなかったが、設問(学生どうして授業内容を深めあった)に対して数名の学生が「あまりそうは思わない」と回答していることから、もう少し議論のための時間を確保する必要があると思われる。

教材のわかりやすさに関する質問で、50%の学生が「どちらともいえない」と回答している。教科書は優れたものであると思っているので、次年度からはもう少し丁寧に教科書の内容を紹介したいと思う。

問1については9割以上が、問7については7割程度が、「強くそう思う」あるいは「ややそう思う」と回答しており、授業の目標はおおむね達成できたと思われる。また、問8および問9については、約9割が「強くそう思う」あるいは「ややそう思う」と回答しており、こちらの授業の仕方に大きな問題はなかったと思われる。一方、問2、3、5では、約4割から5割が「どちらともいえない」あるいは「あまりそう思わない」と回答しており、今後、受講生の主体的な学習を促すための工夫が必要であると思われる。

学生になるべく考える時間をもてるよう、説明の時間は1時間程度にとどめて残りの時間を演習にあてるようにした。演習中は集中して問題に取り組んでいたため内容理解に役立っていたと思う。

授業のための学習時間が短いので、翌週への課題、宿題のようなものをもう少し出せばよかったかなと思います。講義中の学生との対話が少なかったと思います。

自宅学習を促すよう、講義での説明の濃淡や課題の出し方を工夫したい。

また、真面目に講義を聞いてノートを取っただけで分かったつもりになり、自宅学習しない学生に、分かっていない事を認識させること。

アンケートの結果はおおむね良好と判断している。うまく運営できている理由としては比較的小規模のクラスのため、学生の理解度の把握が容易であるということが考えられる。授業の難易度がやや高めなのでこの点について改善していきたい。また、週あたりの学習時間が少ないことは気になっている。学生にいかにして自宅学習の精神を身につけさせるか、今後工夫の余地があると実感している。

いずれの設問でも肯定的な意見が多く、企業見学も含めて意識をもって授業参加している点は評価したい。一方で、問4「学生同士で授業内容を高め合った」や、問15「週あたりの学習時間」は、中程度の回答が多く、授業運営の課題と考えている。より具体的な討議課題の設定や深める方法のアドバイス、企業資料の読み取りなどの共有などを考えたい。

おおむね良好な評価だと思われるので、特に大きく改善する必要はないと思う。ただ野外や博物館での実習では人数が多すぎて、十分に説明が行き渡らないということがあったので、今後改善を考えたい。

設問をもっと整理しようと思いました。

もう少し学生の自習時間をふやしたい。

今年度の授業では受講者からの質問が少なかったので、授業中にもっと質問ができるように工夫する必要性を感じた。

情報数学応用Bについては、何に役立つのか、十分に伝えきれなかった。この点を改善したい。  
アルゴリズム I については、課題を与える余裕が無かった。授業の進行に合わせて、簡単な課題を出題したいと思う。  
データベース I については、最終試験の結果をみると、実際の問題に対応できるほどには理解ができていないと思われる。教科書レベルだけでなく実際の問題に対応できるまで理解を深めるための方法を考える必要がある。

・プレゼンテーションの授業に関して、例年よりストーリー作りを力点を置いた授業を行った。プレゼンに関する相互評価に加え、ストーリー作りに関する相互評価も取り入れたが、「学生同士で内容を深め合った」や、「自ら関連項目を調べた」ということが「ややそう思う」に多く分布しており、「強くそう思う」がやや少なかった。特にストーリー作りに関しては、相互評価の方法をもう少し改善する必要があると思った。

授業時の発声として、メリハリはあるものの、より大きく・ゆっくり話すことを心がける。  
内容的に、物理や数学に基づいた抽象的な記述が避けられないので、モデル化や身近なたとえなどを用いて、なるべくそれらの敷居を下げる。  
主体的な学習を増やすため、授業前後の課題の内容や方法などをより具体的に指示する。

自分で考え、発展的に調査できるように促すよう改善したい。特にデータの分析や解釈について、なるべく自分の力で進められるよう調べ方や考え方の基礎を教えられるように改善していく。

学習時間がどの授業でも少ないので、適切な課題を増加させる。また、自主的な学習を促すような講義スタイルに変えていきたい。近年、以前に比べると学生とコミュニケーションが取りにくくなってきているが、何らかの工夫が必要である。

3割以上の受講者が授業内容を難しいと感じているようなので、分かりやすい例などを与えるなどして対応したい。

[授業コード1\*\*\*]1回当たりの授業内容の量はすべての授業でほぼ同じ80%が「ちょうどよい」であるが、授業の難易度については、初等と中等の学生とで差が出ることはわかっている(中等において「ちょうどいい」が75%に対して、初等において「ちょうどいい」は40%)。学習する内容を初等寄りにしているが、中等において過当たりの学習時間が「なし」が3%いたので、内容に差をつけるべきかもしれない。  
[授業コード2\*\*\*]最後の授業の時にアンケートをしようと思っていたが、みんなの発表が意外とすばらしく、盛況にわたため忘れていた。先生にとって学生の発表までの準備に大変時間が掛かったが、学生が自ら頑張ってくれたとても良い授業であった。人数が少ないからこそその学生にとって大切な時間であった。

「難易度を高くしすぎてはいけない」とよく言われますが、アンケートの結果を信じるなら、もう少し難易度を上げてほしいかなと欲が出ました。

長年の試行錯誤の結果到達した授業方法、授業内容であり、アンケート調査の結果に良く反映されていると考えられる。授業内容については、毎年加筆訂正しており、満足できる段階にあると考えられる。  
アンケート調査の結果では、レポートの作成に使った時間の少ないものもあったが、それはレポートの出来具合からも確認できた。このような学生のためには、興味を持ってレポート作成に取り組めるように、事前の説明で課題の重要性、意義などについての指導が必要かもしれない。